

[2] 令和6年度 学校経営方針

校長 前里哲寿

1 教育目標

本校のスローガン「志ある者には最大限のチャンスを与え最大限の支援を行う～人は変わりうる存在である～」を基本に据え、校訓「自覚・敬愛・実践」に則った教育実践を行う。

(1) 目指す生徒像

①自覚力

周りとの関わりの中に自分の置かれている立場や自分の能力・役割を見いだすことができる、自己を生かす力を持った生徒

②敬愛の精神

互いに尊敬して親しみの気持ちを持ち協働することができる、他者や社会と繋がる力を持った生徒

③実践力

自己の目標に向かって挑戦し行動することができる、前に踏み出す力を持った生徒

(2) 目指す教職員像

生徒支援の視点を踏まえた教育活動を実現させるために、互いに支え合い、学び合い、高め合う協働体制づくりに尽力する誠実で寛容な教職員

2 学校経営目標及び取組課題

(1) 単位制教育の充実

①個別の教育ニーズに対応した学びと3観点に基づく評価の研究・実践

②単位修得率の向上

③追試、技能審査、高等学校卒業程度認定試験、学校外における学修、併修等の活用推進

(2) 教育環境の充実

①定時制課程（午前部・夜間部）、通信制課程、就学支援センターによる校内連携の強化

②生徒の心身の健康と人権に配慮した支援体制の充実

③より良い支援体制を実現する働き方改革の推進

④教育相談及び通級指導の視点を踏まえた合理的配慮の研究・実践（午前部）

⑤学校編成整備計画に基づいた教育課程編成の研究・実施（夜間部）

⑥生徒の自学自習を支援するスクーリングの充実及びレポート添削の工夫（通信）

⑦教育行政機関及び協力校と連携した離島協力校の指導体制づくり（通信）

⑧安心・安全な教育活動を円滑に推進するための環境整備（事務）

(3) キャリア教育の充実

- ①教育活動全体における生徒のキャリア形成に繋がる取り組みの推進
- ②キャリアパスポート及び進路適性検査の活用、外部人材を活用した協働的な学びの推進

(4) 特別活動の充実

- ①「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つを視点とした実践
- ②HR 活動、行事等の集団活動を活用した自主的・協働的な態度の育成
- ③部活動における人権意識の高揚と安心・安全な指導体制の実現

(5) ICT 活用の充実

- ①学習活動における ICT 活用の研究・推進
- ②情報モラル指導の徹底
- ③ICT を活用した校務の効率化

(6) 開かれた学校運営、魅力ある学校づくり

- ①学校説明会の充実、学校 HP、Teams 等を活用した情報配信の研究・実践
- ②3 部（午前・夜間・通信）の強みを生かした魅力ある教育活動の推進
- ③定時制課程 PTA、同窓会、学校評議員、学校三師、外部専門機関との連携強化
- ④創立 50 周年（令和 8 年度）に向けた取り組みの推進

(7) 就学支援センター機能の充実

- ①生徒個々に応じた柔軟な支援体制による就学率の向上
- ②教育行政機関及び外部専門機関と連携した実効性のある支援体制づくり